２０１７年度　事　業　報　告　書

２０１７年４月１日から２０１８年３月３１日まで

特定非営利活動法人　森づくりフォーラム

１　事業の成果

事務局体制強化のため、2 月から常勤職員 1 名を採用した。HP をリニューアルし、森づくりフォーラムの活動や全国の森林づくり活動団体の紹介をより分かりやすくすることができ、合わせて SNS 上での情報発信を強化した。「森林と市民を結ぶ全国の集い」と林野庁補助事業、森林社会学研究会の各事業を進め、研究者・専門家等とのネットワークを拡大した。中期計画の策定については、2018 年度総会時に案を提出するための準備を進めた。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人　数	事業費の金額（千円）
広報事業	機関紙「森づくりフォーラム」の発行、メールマガジンの発行（月 2 回）、HP・Facebook の更新。	4月～3月	東京	4人	6,438人	661
森林社会学会創設準備	2015年度よりスタートした連続講座シリーズを計3回実施。また特別会として11月に上野村ツアーを実施。	4月～3月	東京、群馬	3人	95人	834
市民・子どものための森林・環境教育総合講座	木下沢一帯において親子自然体験イベントを2回開催。5/21にシンポジウム「ヤマ仕事の道具と安全を考える」を開催した。	4月～3月	東京	4人	148人	803
森林づくり活動実態調査の分析・検討と森林づくり活動団体調査	検討委員会を 3 回開催し、2018 年度の実態調査に向けた議論を行った。また 5 つの森づくり団体の調査・WEB での情報発信、2 月には国土緑化推進機構と共催で「緑の助成セミナー」を開催。	4月～3月	東京	1人	5団体、89人	2011

森林と市民を結ぶ全国の集い	第21回となる京都開催に参加。また、第22回（2018年6月16～17日）の上智大学での東京開催に向けて、実行委員会事務局として準備を進めた。	6月～3月	京都、東京	4人	274人	196
グリーンボランティア保険業務	グリーンボランティア保険の窓口業務。	4月～3月	全国	2人	55,219人	1714
フォレスト２１「さがみの森」	フォレスト２１「さがみの森」の管理作業、森林ボランティア体験活動。	4月～3月	神奈川	1人	248人	1441
多摩の森・大自然塾	森林ボランティア講座、初心者向け講座、定例活動などを開催。	4月～3月	東京	3人	473人	2037
プルデンシャル生命保険による寄付事業	プルデンシャル生命保険のe-約款移行に伴う寄附金。その寄附先団体の選定及び振込業務。e-約款の普及率がほぼ目標に達したため、今年度をもって終了。	4月～3月	東京	2人	56団体	95
企業の森づくり	東京都花粉の少ない森づくり参画企業の社員向け森林整備研修及びイベントの実施	4月～3月	東京	2人	55人	124
木下沢渓谷・冒険の森	八王子市高尾山の木下沢にて森林整備・管理作業。	4月～3月	東京	2人	107人	1385
東京の森づくり団体ネットワークづくり	東京都西多摩エリアの森林づくり活動団体との情報交換会を1回、多摩木材センターの見学会を実施。また、初心者向けボランティア体験会実施に向けても調整・準備、森づくり活動団体のパンフレット制作を行った。	4月～3月	東京	3人	37 人	137
森林ボランティアの底辺拡大と指導者層の育成事業	初心者対象のボランティア体験会についての企画･議論を行い、「初心者のための森づくり体験会」として来年3月から6月の実施に向けての準備を行った。7回のうちの第一回を今期に開催。第二回は悪天候のため中止。	4月～3月	東京	4人	42人	218

森林ボランティア安全対策の提言	森づくりフォーラム機関誌に、安全・技術に関する連載記事を掲載し、安全対策の普及に努めた。また、森づくり活動団体を対象とする安全研修に講師派遣を行った。	4月～3月	東京、神奈川	2人	39団体、63人	0

Ⅰ．事業に関する事項

１．森林社会学研究会事業　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンター
主担当者	原田、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	95 名（下記企画委員会、講座参加者の総数）
会議等の実施日時・人数	・4/1　第 8 回連続講座　場所：文京シビックセンター 人数：23 名 ・7/6　第 5 回企画委員会　場所：文京シビックセンター 人数：8 名 ・8/6　第 9 回連続講座　場所：文京シビックセンター 人数：28 名 ・11/7～8　特別回：上野村ツアー 場所：群馬県上野村　人数：11 名 ・12/1 第 10 回連続講座　場所：TKP 神田ビジネスセンター 人数：25 名
2017 年度報告	2015 年度よりスタートした連続講座「森から人へ 人から森へ」を継続して開催した。4 月、8 月、12 月に講座を実施、7 月に企画委員会を 1 回開催。また、11 月 7～8 日に特別回として「哲学者 内山節と行く上野村 秋の視察&散策ツアー」を実施した。

２．ネットワークに関する事業

（１）森林と市民を結ぶ全国の集い　［協力事業・助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンターほか
主担当者	鹿住、中沢、宮本、石井
従事者の人数	4 名
受益対象者の範囲及び人数	274 名（下記開催の参加者と幹事会・実行委員会・準備会の参加者総数）
会議等の実施日時・人数	・6/10～11　森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都　場所：京都府立大他 人数：171 名 ・「森林と市民を結ぶ全国の集い in 京都」実行委員会 5/31 第 5 回　場所：京都木材会館　人数：13 名 ・9/13　「森林と市民を結ぶ全国の集い」全国幹事会　人数：4 名

	・「森林と市民を結ぶ全国の集い 2018in 東京」実行委員会 場所：文京シビックセンター 11/22 第 1 回：19 名　12/18 第 2 回：15 名　1/24 第 3 回：16 名 2/19　第 4 回:18 名　3/19 第 5 回：18 名
2017 年度報告	第 21 回となる京都での開催は、1 日目エクスカーション（京都北山、京都東山、森の京都、大阪北摂）、2 日目全体会という構成であった。今回は、若者レポーターはじめ、参加者にも京都府立大学「森なかま」の学生が多く、若者が多い回となった。また、第 22 回が 2018 年 6 月 16 日～17 日に上智大学で開催される予定で、実行委員会事務局として準備を進めた。

（２）森林づくり活動実態調査の分析・検討と森林づくり活動団体調査
（森林フィールド･森林資源の利活用モデル）　［補助金事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンター、アカデミー向丘、弘済会館
主担当者	宮本
従事者の人数	1 名
受益対象者の範囲及び人数	89 名　5 団体
会議等の実施日時・人数	・2/17 「緑の助成セミナー2018」場所：弘済会館　人数：80 名 ・検討委員会　場所：文京シビックセンター、アカデミー向丘、弘済会館 7/24　第 1 回：9 名　10/11　第 2 回：11 名　2/16 第 3 回：10 名
2017 年度報告	検討委員会を 3 回開催し、調査候補団体の選定と実態調査の検討、および森林づくり活動の定義や、2018 年度の実態調査に向けた手法や項目に関する議論を行った。また、森林フィールド・森林資源を活用した森づくり活動事例 5 団体の調査を実施し、WEB を通じて課題解決に取り組む団体へ情報を発信した。2 月 17 日には国土緑化推進機構と共催で「緑の助成セミナー2018」を開催し、本事業での成果や情報を基に、森林づくり活動に取り組む団体や参加者とのディスカッションを行った。

（３）東京の森づくり団体ネットワークづくり　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	文京シビックセンター
主担当者	石山、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	37 名
会議等の実施日時・人数	・9/11 意見交換会　場所：文京シビックセンター　13 名 ・12/25　多摩木材センター見学会　24 名
2017 年度報告	東京の森づくり団体の意見交換会を 1 回実施し、ボランティア体験会について

	の企画・議論を行った。会には東京都森林課も参加し、全国育樹祭の説明をしていただいた。また森づくり活動団体のパンフレット制作についての準備を進めた。初心者向けボランティア体験会の実施に向けての、調整と準備を行った。また多摩木材センターの見学会を実施した。

（４）プルデンシャル生命保険による寄付事業　［受託事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	42 都道府県 56 団体
2017 年度報告	2017 年度の寄付金総額は 23,249,556 円で、4,076,906 円増加した。うち森づくり活動団体向け 15,249,556 円、被災地支援分 8,000,000 円（うち森づくりフォーラム推薦 3 団体 3,000,000 円）で、森づくりフォーラムが取り扱った寄付金は 18,249,556 円である。12 月上旬に各団体に寄付金を振り込み今年度事業は終了した。 2010 年度から e-約款普及に向けて開始された本事業は、普及率がほぼ目標に達したため、今年度をもって終了した。なお、東京都ではプルデンシャル社員による森づくり体験活動の受入実績があることから、全国の支店でも同社員による森づくり体験活動ができるよう、寄付先団体と連携しながらプルデンシャル社に働きかけた。

３．人材育成の事業

（１）市民・子どものための森林・環境教育総合講座　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	東京都八王子市西浅川町
主担当者	松井、樋口
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	84 名
会議等の実施日時・人数	5/28　場所：木下沢渓谷冒険の森 47 名 10/9　場所：木下沢渓谷冒険の森 37 名
2017 年度報告	年に 2 回、「こげさわ渓谷冒険の森の会」との共催で高尾山周辺の森づくり団体、八王子市観光課の協力で実施。親子で木を伐る体験、自然観察、水辺の遊び等を学び、楽しんでもらった。

（２）森林・環境教育総合講座シンポジウム　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	全水道会館
主担当者	石山、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	64 名
会議等の実施日時・人数	5/21 場所：全水道会館 64 名
2017 年度報告	シンポジウム「ヤマ仕事の道具と安全を考える」を開催した。「野外・森林活動の安全」をテーマにしたシリーズの 4 回目となる。

（３）森林ボランティアの底辺拡大と指導者層の育成事業　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	東京都内 7 カ所程度
主担当者	石山、松井、宮本、石井
従事者の人数	4 名
会議等の実施日時・人数	9/11　意見交換会　場所：文京シビックセンター　13 名 12/7　実施内容と参加団体の確認　文京区男女平等センター　11 名 3/17　高尾グリーンクラブ　18 名 3/21　お日の森くらぶ　　雨天中止
受益対象者の範囲及び人数	42 名　7 団体
2017 年度報告	上記「東京の森づくり団体ネットワークづくり」の意見交換会にて企画案を説明し、意見交換を行った。初心者対象のボランティア体験会についての企画・議論を行い、体験イベントの受入れの要請と調整を実施した。 「初心者のための森づくり体験会」として来年 3 月から 6 月の実施に向けて、プログラムに掲載する場所、日程の確認を各団体と打合せを行い、募集を開始した。第 1 回目を今期に 2 回開催したが 1 回は雨天で中止になった。

４．森林ボランティア活動支援の事業

（１）グリーンボランティア保険業務　［自主事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	以下表を参照
2017 年度報告	登録団体数は微増で増加傾向である。保険利用件数・保険利用人数は、微減で

	あるが、これは７月と 10 月の雨天による活動が中止となった団体が多くあった影響によるものかと思われる。

＜登録団体数＞ 2018 年 3 月 31 日現在

前年度	新規登録	退会・未更新	今年度	前年度比
４７４	１０１	△１５	５６０	１１８％

※内、登録料滞納団体:44 団体（督促中）

＜件数＞（2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日までの実績）

	第一種	第二種	賠償責任部分	合計	前年度比（%）
保険利用件数	3,470	3,768	7,238	7,238	106.3
保険利用人数	41,890	16,203	58,093	58,093	102.8
保険料	2,960,568	8,391,263	5,984,900	17,336,731	93.4
事故件数	14	12	3	29	56.9
保険金支払額	－	－	－	1,598,108	25.1

＜件数＞（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日までの実績）

	第一種	第二種	賠償責任部分	合計	前年度比（%）
保険利用件数	3,392	3,527	6,919	6,919	95.6
保険利用人数	39,740	15,479	55,219	55,219	95.1
保険料	2,805,242	7,905,724	5,756,550	16,467,516	95.0
事故件数	14	19	7	40	137.9
保険金支払額				3,949,625	247.1

（２）森林ボランティア安全対策の提言　　［自主事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2 名
会議等の実施日時・人数	・9/8　場所：横浜自然観察の森 15 団体 20 名 ・9/10　場所：横浜市環境活動支援センター 12 団体 13 名 ・11/29　場所：福岡市　12 団体 30 名
受益対象者の範囲及び人数	39 団体 63 名

2017 年度報告	森づくりフォーラム機関誌に、安全・技術に関する連載記事を掲載し、安全対策の普及に努めた。またグリーンボランティア保険のパンフレット（改訂版）が完成した。及び、神奈川県横浜市主催と福岡県の「ふくおか森づくりネットワーク」主催の、森づくり活動団体を対象とする安全研修に講師派遣を行った。

５．フィールド事業

（１）フォレスト 21「さがみの森」　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月												
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha（神奈川県相模原市緑区青山）												
主担当者	宮本												
従事者の人数	1 名												
受益対象者の範囲及び人数	248 名												
会議等の実施日時・人数	日時	4/23	5/28	6/10	6/25	7/8	7/23	8/27	9/9	9/24	10/22	10/22	
	人数	18	13	10	－	15	16	9	15	14	－	－	
	日時	11/11	11/26	12/9	12/23	1/13	1/28	2/10	2/25	3/10	3/25		
	人数	12	16	12	18	16	－	19	17	12	16		
2017 年度報告	オムロンのイベントを 4 月 11 日に実施を予定していたが雨天中止となった。参加者を増やすため、7 月の活動では通常の活動に加えて BBQ イベントを行った。また、ヤマビル被害の増加から、研究者への取材を行い、活動参加者へのヤマビルに関する情報発信・普及啓発を行った。森林管理署との国有林ふれあいの森協定は 5 カ年目となるが、今後も協定を継続していく。毎月第 2 土曜、第 4 日曜の定例活動を継続する。作業としては間伐期に入っているため、間伐体験の定例化や各イベントを通じて参加者増加をめざす。												

（２）多摩の森・大自然塾 森林ボランティア講座　［受託事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	松井、樋口
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	延べ　106 名
会議等の実施日時・人数	基礎講座　①6/17　17 名　②7/8　14 名　③8/26　11 名　④9/16　10 名 応用・実践講座 ①10/14　13 名 ②11/11 15 名　③12/9　13 名　④1/13 13 名
2017 年度報告	東京都環境局が森林ボランティアの底辺拡大と指導者等の育成のために毎年開催している講座。6 月から翌 1 月まで基礎講座 4 回、応用・実践講座 4 回を森林インストラクター東京会の協力で実施した。

（３）多摩の森・大自然塾　定例活動　［自主事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月												
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣												
主担当者	松井、鹿住												
従事者の人数	2 名												
受益対象者の範囲及び人数	367 名												
会議等の実施日時・人数	4/16	5/21	6/18	7/16	8/6	8/20	10/16	11/20	11/23	12/18	1/15	2/19	3/19
	35	33	30	36	20	26	36	26	22	27	25	22	29
2017 年度報告	コープみらいと BESS フォレストクラブの支援のもと、JUON（樹恩）NETWORK、森林インストラクター東京会とともに毎月第 3 日曜日に開催した。												

（４）企業の森　　［受託事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	東京都青梅市 2 箇所
主担当者	久保田、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	55 名
会議等の実施日時・人数	9/23　企業の森・美しい多摩川フォーラム(青梅) 55 名
2017 年度報告	これまで実施してきた企業の森では、すべて下刈作業の事業期間が終了した。今期に実施したのはヤマザクラ植栽イベントである。西多摩自然フォーラムの協力により実施した。

（５）木下沢渓谷冒険の森　　［助成事業］

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月											
実施場所	東京都八王子市裏高尾町											
主担当者	松井、樋口											
従事者の人数	2 名											
受益対象者の範囲及び人数	107 名											
会議等の実施日時・人数	日時	4/9	5/14	6 月	7/23	8/13	9/10	10 月	11/12	12/10	1/14	2/11
	人数	13	11	－	8	9	15	－	11	13	12	15
2017 年度報告	高尾山周辺で活動する森づくり団体で構成されている「こげさわ渓谷冒険の森の会」として、毎月第 2 日曜日に定例活動を実施した。											

Ⅱ．総務に関する事項

１．会議

（１）第１７回通常総会　　２０１７年５月２１日
（２）第３６回定期理事会　　２０１７年５月２０日
　　第３７回定期理事会　　２０１７年１２月１０日
（３）運営委員会　　２０１７年４月１３日、５月１１日、６月８日、７月６日、
　　８月８日、９月１日、１０月１２日、１１月１６日
　　１２月６日、１月１８日、２月８日、３月１２日
（４）中長期ビジョン検討会　２０１７年４月２６日、９月２６日
（５）広報委員会　　※運営委員会と併催

２．会員の拡大

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所・主催及び関連イベント
主担当者	運営委員会及び事務局
従事者の人数	7 名
受益対象者の範囲及び人数	会員数は以下推移表を参照。
2017 年度報告	各フィールド事業、シンポジウム等を通じて入会への働きかけに努めた。またグリーンボランティア保険事業を通じて、登録団体への団体会員入会案内を促進した。会員特典をより充実にするための議論を進めた。

会員数の推移(2018 年 3 月 31 日現在)

	前年度 会員数	新規 会員数	退会 会員数	今年度 会員数
個人正会員	１１７	２	７	１１２
個人賛助会員	７５	３	１２	６６
個人会員計	１９２	５	１９	１７８
団体正会員	６５	６	０	７１
団体賛助会員	３	０	０	３
団体会員計	６８	６	０	７４

３．機関誌『森づくりフォーラム』の発行

実施期間	発行回数 4 回（春季 4 月、夏季 7 月、秋季 10 月、冬季 1 月）
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本、村田
従事者の人数	4 名
受益対象者の範囲及び人数	延べ 2,400 名（会員及び情報提供先 600 部×4 回）

2017 年度報告	現行の年 4 回（季刊）発行体制を継続した。団体会員の紹介や、安全対策に関する連載記事、森林社会学研究会の取組に関する連載記事を掲載した。森林と市民を結ぶ全国の集いや、総会シンポジウム、連続講座等で会員以外にも配布し、情報発信に努めた。

４．メールマガジン『森フォ通信』の発行

実施期間	発行回数 24 回（月 2 回）
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	1,738 名
2017 年度報告	現行の月 2 回（概ね 1 日と 15 日）発行体制を継続した。ホームページやフェイスブックにて継続的な告知、講座参加者やグリーンボランティア保険新規登録団体の登録を行った結果、登録者数は 1,738 名となった。

５．ホームページ、フェイスブックによる情報発信

（１）ホームページの更新

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	延べ 15,000 アクセス（閲覧件数平均 1,000 回/月）
2017 年度報告	グラムデザインの協力のもと、HP を 5 月にリニューアル公開し、以降、講座・イベント等の告知、内山節ライブラリーを定期的に更新した。HP へのアクセス数は昨年度比 65.8%増加した。

（２）フェイスブック

実施期間	2017 年 4 月～2018 年 3 月
実施場所	本会事務所
主担当者	中沢、松井、宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	約 2,300 名
2017 年度報告	記事を掲載できるタイムライン上に、メールマガジンの配信告知、シンポジウムなどのイベント告知などの情報提供を行った。結果、フェイスブックページへの「いいね！」は 400 件増加した。

６．各種委員会への出席

・4/28　東京都 全国育樹祭実行委員会（久保田）
・6/22　東京都 森林審議会（久保田）
・6/30　森林・山村の多面的機能発揮交付金 企画委員会（松井）
・9/7　東京都 緑の募金運営協議会（松井）
・9/13　「森林と市民を結ぶ全国の集い」全国幹事会（鹿住）
・12/11 花粉の少ない森づくり運動推進委員会幹事会（久保田）
・1/22　花粉の少ない森づくり運動推進委員会（久保田）
・2/8　東京都 緑の募金運営協議会（松井）
・2/16　セブン-イレブン記念財団環境市民活動助成専門審査会（原田）
・2/16　東京都 全国育樹祭実行委員会（久保田）

Ⅲ．事務局体制

＜常務理事＞　〔非常勤〕
鹿住　貴之　認定 NPO 法人 JUON（樹恩）NETWORK
＜理　事＞　〔非常勤〕
松井　一郎　森林インストラクター東京会
＜事務局職員＞
宮本　至　〔常　勤〕
石井　春花　〔常　勤〕(2018 年 2 月～)
中沢　和彦　〔非常勤〕
樋口　満里　〔非常勤〕
＜ボランティアスタッフ＞
村田　央

Ⅳ．運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則毎月１回程度、必要な事項を協議する。構成メンバーは、上記理事、事務局常勤職員のほか次のとおり。

＜副代表理事＞
原田　敏之　愛知生態系ネットワーク協議会
＜理　事＞
久保田繁男　西多摩自然フォーラム
＜理　事＞

石山　恵子　　遊学の道 Project

＜事務局職員＞

中沢　和彦